

(仮称) 小学校統合問題検討特別委員会 議会報告

(令和三年六月七日)

令和3年3月議会において、全議員の構成で設置された当委員会は、これまで**委員会**として**7回**、**協議会**として**1回**、合わせて**8回**開催しました。それらについて報告致します。

第1回（令和3年3月22日）。教育委員会と意見交換を行い、平成26年に諮問機関から統廃合に関する報告がされた後の、町と議会のやり取りを説明し、教育委員会定例会での会議内容等の確認を行いました。

第2回から**第5回**までは、各小学校学区の保護者・関係者と意見交換を行う事とし、

（令和3年3月23日）、南小学校

（令和3年3月24日）、北小学校

（令和3年3月29日）、東小学校

（令和3年4月2日）、小阿弥小学校 の順に、多目的ホール
「あぷる」を会場とし行いました。

第6回（令和3年4月13日）は、各小学校学区から出た意見、
及び各保育所のアンケート結果について検討を行いました。

各小学校学区での意見を精査すると、

統廃合について「賛成・反対」はあるものの、**概ね統廃合には**
賛成の意見が多く見られました。

しかし、統合方法については、町が示す新築ありきではなく、
既存校を利用した方法なども含め十分に検討を行い、その結果
を随時、具体的に説明した上で行って欲しいと言う意見が多く

見られました。

保育所保護者アンケートの結果は、

対象世帯数282世帯の内、209世帯（74・11％）の参加を頂きました。

主な結果を申し上げますと、

統廃合に賛成は（約60％）・反対は（約10％）
わからない・どちらでもよいが（約30％）でした。

●教育委員会が進める「**小中連携**」については、
必要が（約32％）・関係ないが（約29％）・わからない・どちらでもよいが（約38％）という結果で、「関係ない」・「わからない」・どちらでもよい」を合わせると（67％）という結果

をみると、小中連携という認識がまだまだ薄いものと感じます。

●一方で、通学バスの必要性については

「必要」が（約86%）・「必要ない」が（約2%）で、
統合する上で、通学バスの必要意見が圧倒でした。

●統合の必要性について尋ねたところ、

「出来る限り早く統合」が（約22%）

「財政面の検討が必要」が（約41%）

「町民と意見交換を行い検討」が（約30%）

と、約70%の方が「十分に検討を行ってから統合すべき」という結果でした。

当委員会としては、これらの意見等を真摯に受け止め、

教育環境の改善はもちろん、財政面をはじめ町の将来構想にも大きく影響する重要課題として、教育委員会と**連携**し検討を進めて行く事が**必然**であるという結論に至りました。

その事を教育委員会へ報告したところ、連携の判断は町長にあると言う事から、当委員では正式に**町長**へ議会議長を通し、教育委員会と連携し検討して行きたい旨の「**申し入れ**」を令和3年4月15日付けで提出致しました。

第7回（令和3年4月28日）は、当委員会として**現段階**の基本方針をまとめ、教育委員会へ報告する事としました。その内容を申し上げます。

一・統廃合することには賛成。

理由は、少子化に伴い児童数の減少により、複式学級ができている現状の改善と将来構想を考えた時、統廃合は避けては通れない問題と考える。

二・統廃合の方法は十分検討する。

理由は、町で示した方針は町民の意見集約等もない一方的なものであり、町民の意見を十分聞いた上での検討が必要である。

三・教育委員会と連携し検討する。

理由は、町・議会一丸で検討する事は必然の事と考える。

四・板柳町立小学校 統合整備検討委員会 設置条例案は否決。

理由は、令和3年 第5回定例会に提出され**否決**されたこの条例案は、現段階で設置するものではなく、しかるべき段階に至った時期に設置するものと考え、**それまでは、容認できない。**

以上4つの事項について、欠席者2名を除いた委員10名の同意により、当委員会の**正式意見**とし申し上げます。

令和3年5月21日開催予定の第8回委員会は、3名の欠席・**4名の辞任**により、定数に達しなかつた為、協議会として開催し、教育長および学務課長より、「小中一貫教育」と「小中連携教育」の違い・メリット・デメリットなどについて説明を受け、意見交換を行いました。

また、教育委員会で行った小学校関係者との意見交換やアンケート調査の結果は、現在取りまとめ作業中で今後1カ月程度の時間を要するという事でしたので、完了後、当委員会を開催し説明を受ける事になりました。

今回参加頂いた、各小学校関係者・各保育所保護者の皆さんに、感謝申し上げます。

当委員会で行った調査等については、随時ホームページで公開して行きます。

より良い統廃合となる様、当委員会は教育委員会と連携しこの問題に取り組んで行きたいと思えます。

以上で、報告を終わります。